



7月2015

平和川柳募集

※カレンダーの書き込みは、その日周辺の動きで当日の動きではありません。

2015年7月、戦後日本の憲政史上に大きな汚点が残る。自民党、公明党が立憲制と国民主権に叛いた日であり、国民の“民主主義を守れ”“立憲制を守れ”の声が大きく立ち上がった日でもあります。

日	月	火	水	木	金	土
「女性自身」安保法特集。“現場の声は反対多い”	自民勉強会で“反対する新聞つぶせ”と自由な言論敵視。	憲法学者の大半が安保法は“違憲立法”。	1 市民団体の運動活発。	2 国際 NGO 非戦の会立ち上げる。	3 地方議会での反対・慎重討議増加	4 学生 SEALs 全国で運動広がる
5 女性による安保法反対レッドアクション全国各地で行動広がる。	6 安保法反対 58% 今国会成立反対 63% 説明不十分 80%	7 沖縄、埼玉での地方公聴会、参考人反対、説明不足、慎重審議要求。	8 各地の弁護士会による安保法反対運動が広がる。	9 仏教界、キリスト教会など、宗教者の“安保法反対運動”広がる	10 与党国会で安保法の説明が出来ない事態続く。資料も出せない状況。	11 元自衛隊員の“安保法はリスクの説明回避”との指摘相次ぐ。
12 歴代内閣法制局長官による“安保法違権”指摘相次ぐ。	13 学者研究者安保法反対 10000 を超える賛同者。増加中。	14 「週刊女性」安保法特集“聞けば聞くほどおかし内容”	15 安保法案委員会可決 与党“国民の理解は進んでいない”とわかりながらも。	16 安保法案強行採決 与党幹部“抗議の声はざわめき程度”発言。	17 映画人の反対広がる。教職員 34000 人反対表明	18 安保法に反対“ママの会”も運動。
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

皆さんの日常にある平和な事柄から、国際紛争、核兵器の廃止、“平和のうちに生きる権利”に関する事柄、安保法案に関わることなど、なんでも結構です。川柳は、ホームページや機関紙で掲載させていただきます。尚、明らかに好戦的なもの、個人を傷つけるもの、ダーティな言葉や差別的な表現はお断り。